

平成27年度

公営企業会計決算資料

産業労働部

項 目 頁

公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

1	損益収支の状況	1
2	今後の経営状況	2
3	事業収益の状況	3
4	事業費用の状況	4
5	企業債残高の推移	5

平成27年度 福井県公営企業会計における剰余金の処分および決算状況について

1 損益収支の状況

平成27年度の公営企業会計については、工業用水道事業会計以下4会計の純利益は合計で11億7,547万円となった。

工業用水道事業会計の事業収益は、7億4,083万円、事業費用は5億6,672万5千円となり、純利益は、1億7,410万5千円となった。この純利益については、企業債償還のための財源として減債積立金に3,231万円を積み立てるほか、今後の建設改良の財源として建設改良積立金に1億4,179万5千円を積み立てる。

水道用水供給事業会計の事業収益は、34億8,923万3千円、事業費用は26億9,021万2千円となり、純利益は、7億9,902万1千円となった。この純利益については、減債積立金に2億550万9千円を積み立てるほか、建設改良積立金に5億9,351万2千円を積み立てる。

臨海工業用地等造成事業会計の事業収益は、7,043万7千円、事業費用は5,643万8千円となり、純利益は、1,399万9千円となった。この純利益は、利益の処分は行わず、翌年度に繰越すことにより、翌年度繰越利益剰余金は25億8,810万1千円となった。

臨海下水道事業会計の事業収益は、10億5,719万9千円、事業費用は8億6,885万4千円となり、純利益は、1億8,834万5千円となった。この純利益については、建設積立金に1億8,834万5千円を積み立てる。

「その他未処分利益剰余金変動額」については、工業用水道事業会計、水道用水供給事業会計および臨海下水道事業会計の全ての会計について全額を資本金に組み入れる。

(単位:千円)

会計		工業用水道事業	水道用水供給事業	臨海工業用地等 造成事業	臨海下水道事業	合計
区分						
事業 収益	営業収益	681,128	2,906,330	31,127	707,850	4,326,435
	営業外収益	59,702	582,903	39,310	349,349	1,031,264
	計	740,830	3,489,233	70,437	1,057,199	5,357,699
事業 費用	営業費用	560,664	2,464,856	56,438	867,950	3,949,908
	営業外費用	6,061	225,356	0	904	232,321
	計	566,725	2,690,212	56,438	868,854	4,182,229
純利益		174,105	799,021	13,999	188,345	1,175,470
前年度繰越利益剰余金		0	0	2,574,102	0	2,574,102
その他未処分利益剰余金変動額		241,781	547,410	0	215,532	1,004,723
当年度未処分利益剰余金		415,886	1,346,431	2,588,101	403,877	4,754,295
利益剰余金処分案		415,886	1,346,431	0	403,877	2,166,194
(1) 減債積立金		32,310	205,509	0	0	237,819
(2) 建設改良積立金		141,795	593,512	0	188,345	923,652
(3) 資本金		241,781	547,410	0	215,532	1,004,723
翌年度繰越利益剰余金		0	0	2,588,101	0	2,588,101

2 今後の経営状況

第一工業用水道事業については、契約水量の変動はなく安定した経営状況となっており、今後とも施設の耐震化や更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

臨海工業用水道事業については、契約水量の増加により経営は安定しており、今後とも井戸水源の確保や管路増設、施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

坂井地区水道用水供給事業については、順調な経営状況となっており、今後とも浄水池増設や施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

日野川地区水道用水供給事業については、全量給水となった平成25年度からは順調な経営状況となっており、今後とも施設の安定的な運営に努め、累積欠損金の早期解消に努めていく。

臨海工業用地等造成事業については、未売却地が残り2区画と少なくなってきたことから、防風林帯を産業用地に造成し、新たに1区画を確保する計画である。今後とも関係部局と一層の連携を図りながら、早期売却に努めていくとともに、産業用地の拡充について検討を行っていく。

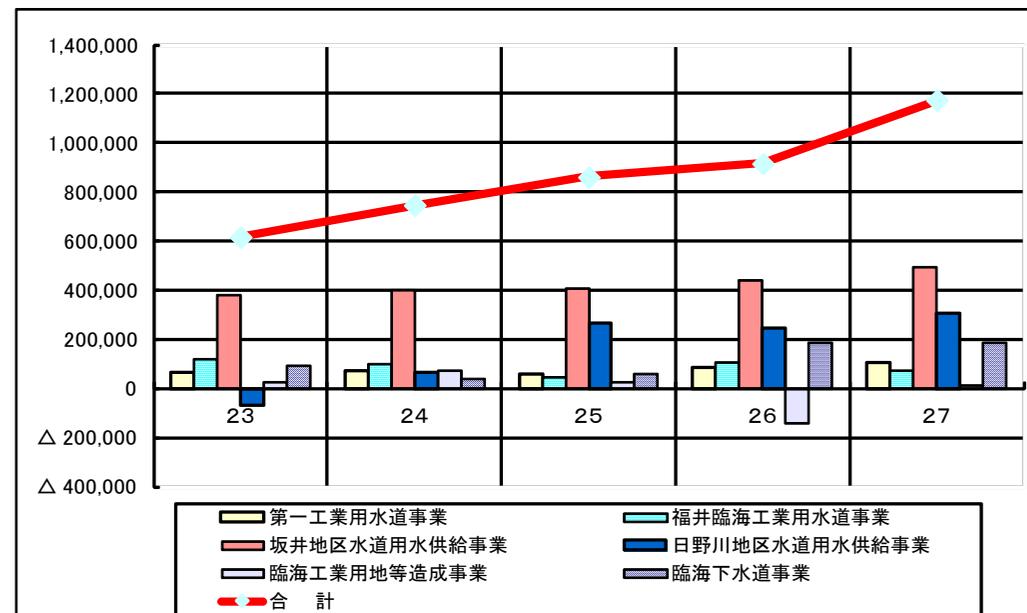
臨海下水道事業については、処理量の増加により経営は安定しており、今後とも管路増設や施設の更新等の効率的な実施に努め、健全な経営を維持していく。

公 営 企 業 の 純 利 益 の 推 移

(単位:千円)

会 計	年 度	23	24	25	26	27
第一工業用水道事業		66,793	72,204	60,109	88,317	101,968
福井臨海工業用水道事業		120,164	98,534	47,563	107,645	72,137
坂井地区水道用水供給事業		377,433	400,864	404,775	436,938	492,180
日野川地区水道用水供給事業		△ 67,168	67,349	263,321	244,544	306,841
臨海工業用地等造成事業		27,761	68,548	26,684	△ 142,902	13,999
臨海下水道事業		92,304	39,820	59,166	182,401	188,345
合 計		617,287	747,319	861,618	916,943	1,175,470

(単位:千円)



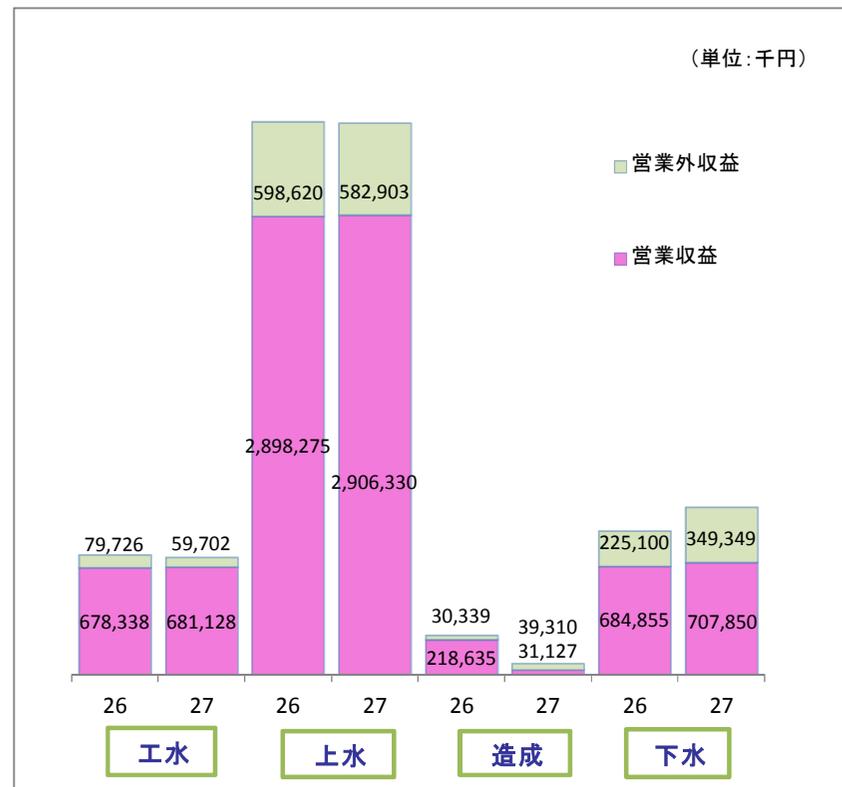
3 事業収益の状況

営業収益は、料金収入や土地売却収入を計上している。平成27年度の営業収益は、4会計合計で43億2,643万5千円となり、前年度に比べ1億5,366万8千円減少した。これは主に、臨海工業用地等造成事業の土地売却収入が減少したことによるものである。

営業外収益は、受取利息や補助金等を計上している。平成27年度の営業外収益は、4会計合計で10億3,126万4千円となり、前年度に比べ、9,747万9千円増加した。これは主に、臨海下水道事業の長期前受金戻入益が増加したことによるものである。

(単位:千円、%)

区 分		年 度		対前年度比	
		27	26	増減額	増減率
工水	営業収益	681,128	678,338	2,790	0.4
	営業外収益	59,702	79,726	△ 20,024	△ 25.1
	合計	740,830	758,064	△ 17,234	△ 2.3
上水	営業収益	2,906,330	2,898,275	8,055	0.3
	営業外収益	582,903	598,620	△ 15,717	△ 2.6
	合計	3,489,233	3,496,895	△ 7,662	△ 0.2
造成	営業収益	31,127	218,635	△ 187,508	△ 85.8
	営業外収益	39,310	30,339	8,971	29.6
	合計	70,437	248,974	△ 178,537	△ 71.7
下水	営業収益	707,850	684,855	22,995	3.4
	営業外収益	349,349	225,100	124,249	55.2
	合計	1,057,199	909,955	147,244	16.2
合計	営業収益	4,326,435	4,480,103	△ 153,668	△ 3.4
	営業外収益	1,031,264	933,785	97,479	10.4
	合計	5,357,699	5,413,888	△ 56,189	△ 1.0



4 事業費用の状況

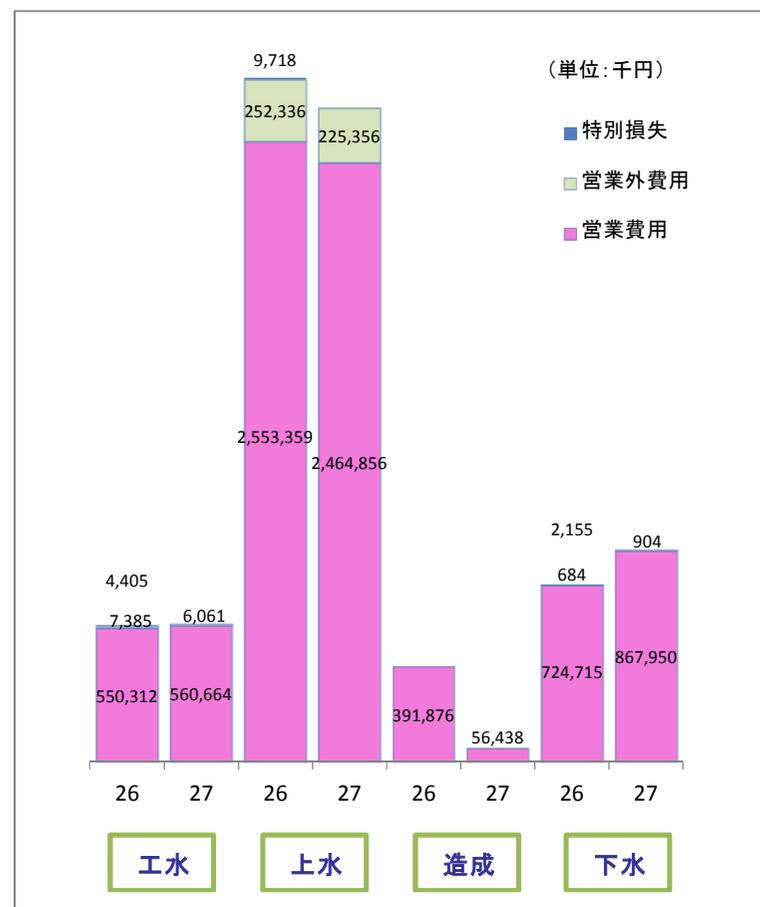
営業費用は、管理運営費や減価償却費、土地売却原価を計上している。平成27年度の営業費用は、4会計合計で39億4,990万8千円となり、前年度に比べ2億7,035万4千円減少した。これは主に、水道用水供給事業の減価償却費の減少によるものと臨海工業用地等造成事業の土地売却原価の減少によるものである。

営業外費用は、主に企業債の支払利息を計上している。平成27年度の営業外費用は、4会計合計で2億3,232万1千円となり、前年度に比べ2,808万4千円減少した。これは、主に水道用水供給事業の支払利息の減少によるものである。

各会計の平成26年度の特別損失は、会計制度見直しによる移行措置として、期末勤勉手当に係る前年度期間相当額を計上したものである。

(単位:千円、%)

年度 区分		27	26	対前年度比	
				増減額	増減率
工水	営業費用	560,664	550,312	10,352	1.9
	営業外費用	6,061	7,385	△ 1,324	△ 17.9
	特別損失	0	4,405	△ 4,405	皆減
	合計	566,725	562,102	4,623	0.8
上水	営業費用	2,464,856	2,553,359	△ 88,503	△ 3.5
	営業外費用	225,356	252,336	△ 26,980	△ 10.7
	特別損失	0	9,718	△ 9,718	皆減
	合計	2,690,212	2,815,413	△ 125,201	△ 4.4
造成	営業費用	56,438	391,876	△ 335,438	△ 85.6
	営業外費用	0	0	0	0.0
	特別損失	0	0	0	0.0
	合計	56,438	391,876	△ 335,438	△ 85.6
下水	営業費用	867,950	724,715	143,235	19.8
	営業外費用	904	684	220	32.2
	特別損失	0	2,155	△ 2,155	皆減
	合計	868,854	727,554	141,300	19.4
合計	営業費用	3,949,908	4,220,262	△ 270,354	△ 6.4
	営業外費用	232,321	260,405	△ 28,084	△ 10.8
	特別損失	0	16,278	△ 16,278	皆減
	合計	4,182,229	4,496,945	△ 314,716	△ 7.0



5 企業債残高の推移

企業債残高は年々減少しており、平成27年度末は、工業用水道事業の1億749万2千円、水道用水供給事業計の92億7,618万7千円の合計93億8,367万9千円となった。

(単位:千円)

会計	区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
工水	企業債残高	223,371	196,290	167,987	138,407	107,492
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	25,912	27,081	28,303	29,580	30,915
上水	企業債残高	12,336,091	11,607,383	10,832,021	10,029,482	9,276,187
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	722,329	728,707	775,362	802,539	753,295
合計	企業債残高	12,559,462	11,803,673	11,000,008	10,167,889	9,383,679
	新規借入額	0	0	0	0	0
	償還額	748,241	755,788	803,665	832,119	784,210

